



～ 浦高への一般入試願書受付(初回) ～

高校一般入試の初回受付が2月6・7日に行われ、本県中学校31校から合計357名の応募がありました。昨年度同様、非常に多くの受付人数になっています。しかし、今回は初回の受付で、これから再出願があるので最終出願を見なければ、昨年度との比較はまだできません。現在、通学区域外から27名の応募があり、浦添高校の不動の人気が伺えます。先日行われた浦高の推薦入学で100名の合格内定者をだしたので、一般入試の定員は300名となります。今現在は競争倍率は1.19倍となっており、これから志願変更等が予想されます。いずれにしろ、受検生にとっては、そのまま受検するべきが大変悩ましい倍率になりました。

去った2月5日(月)には、推薦合格内定者激励会がありました。離島を除く99名の合格内定者が、緊張の面持ちで参加してくれました。激励のあいさつとして、話をさせていただきましたが、みんな静かに話を聞いてくれました。



話の概要は①中学校で習う学習内容を、しっかり身につけてきて欲しい。②みなさんを入学させたからには、責任を持って次のステージに進めるように取り組んでいく。③一般入試がこれから始まるので、これから受検する友人を励まして欲しい…、などです。

②に関しては生徒諸君にも声を大にして言いたいことです。進路希望調査で書いた内容が、いつの間にか違う内容になっていないか?本当に希望通りの進路に向かっているのかを今一度考えて欲しいと思います。浦添高校は常に“Next stage”を意識して取り組んでいきます。本当に行きたい進路へ。本当になりたい自分へ。みんな頑張ってくれ～!!

校長

● 有言実行の快挙 ●

女子ハンドボール部が九州制覇を成し遂げた。第46回九州高校選抜大会兼第41回全国高校選抜大会九州地区予選大会での優勝である。決勝の相手は前年度の覇者大分高校で、24対23の1点差で見事制した。



浦高女子ハンドボール部は今年度高校総体から県内負け無しでここまでやってきた。しかし、楽に勝てた試合はひとつとして無く、全員が全力プレーで勝ち取ってきたものばかりである。日頃の練習はもちろん、県外遠征、校内の合宿、メンタルトレーニング等を積み重ねての快挙である。

今大会への出発の際に、監督の佐平牧生先生が「校長先生、優勝旗を持って帰ります」と言ってくれた。これまで培ってきた努力と生徒一人ひとりを信頼しているからこそ出た一言だと感動した。そしてその言葉通りの結果を出してくれた。

次は全国選抜大会だ。県代表、九州代表のプライドを持って、おもいっきり戦って欲しい。

校長

*** 校長雑感 ***

いよいよ卒業式が近づいてきた。3年生にとって最後の学校行事となる。どんな気持ちでむかえるのだろうか?たぶん今ひとつ実感が湧いてないかもしれない。これから進学・就職準備期間に入るけど、一日一日を大切にしたいと切に願っている。浦高での3年間どうでしたか?楽しかった事や涙した事たくさんあったと思う。全てが君たちのキャリアになった。

～～～ 時の言葉 ～～～

うつむいてはいけない。
いつも頭を高くあげていなさい。
世の中を真正面から見つめなさい。



ヘレン・ケラー
(教育家、社会福祉活動家)

1歳半の時に高熱の髄膜炎を罹患し、視覚、聴覚、言葉を失った。しかし、家庭教師サリヴァンの指導のもと、指文字、言葉を習い、盲学校、聾学校を経て、ラドクリフ・カレッジを卒業する。常に現実と向き合って生きてきた彼女の言葉。 校長

～ 3 学期末考査始まる ～

今年度最後の期末考査が13、14、15日に行われる。生徒諸君はまさに試験に向けて必死で取り組んでいるところであろう。

6日(火)の考査前勉強会の様子を見てみると、1年生は教室いっぱいであったが、2年生が8名程度と寂しい限りである。教室あるいは自宅で勉強しているのかな?いずれにしろ、結果を残さなければならぬ。

ちなみに、浦高の特徴として成績優秀な生徒がたくさんいる。日頃からコツコツ勉強している証拠だ。しかし、油断してはならない。成績優秀者がたくさんということ、それは普通になってしまう。

心して懸かるべし。 校長